

検証：介護保険制度 1 年

— 連合総研「介護サービス実態調査」から見えてきたもの —

「介護サービス実態調査研究委員会」（* 主査）

* 堀越 栄子（日本女子大学助教授）	牛山久仁彦（明治大学助教授）
井出 久章（労働調査協議会事務局長）	飛田 博史（地方自治総合研究所研究員）
高橋 信幸（長崎国際大学教授）	野村 知子（桜美林大学助教授）
斉藤 弥生（大阪大学助教授）	安岡 厚子（サポートハウス年輪・理事）ほか

連合総研は、介護保険制度導入後、約 1 年を迎えた段階における制度の検証を含めて介護サービスの実態調査を企画し、今後の制度改革に向けた政策提言を行うために、2000年7月、「介護サービス実態調査研究委員会」（堀越栄子主査）を発足させた。

本調査の主たるねらいは、調査の概要の意図と目的で述べているように、介護サービスにおける職の確立と介護者側からの実態の把握にあり、そのため、①ホームヘルプサービス職に関するアンケート調査、②ケアマネジャー職に関するアンケート調査、③要介護高齢者についての実態調査の 3 つのアンケート調査を 2001 年 3 月～4 月にかけて実施した。

本報告書は、これら 3 つのアンケート調査の分析とそれを踏まえての総論から構成されている。また、各章の調査項目のおわりには、適宜「要約」としてまとめ、内容のポイント、問題点の指摘をおこなって、便宜を図っている。

目次

総論 調査の全体像と介護サービス改革の課題

第 1 章 調査の全体像	第 2 章 介護サービスの担い手 — 現状と課題 —
第 3 章 介護保険下の在宅介護者	第 4 章 行政の課題
第 5 章 提 言	

第 1 部 ホームヘルプサービス職に関するアンケート調査結果

序 章 調査対象者の構成	第 1 章 ホームヘルパーのキャリアー
第 2 章 ホームヘルパーの仕事意識	第 3 章 ホームヘルパーの仕事実態
第 4 章 介護保険施行のホームヘルパーへの影響	第 5 章 就労の実態と労働条件

第 2 部 ケアマネジャー職に関するアンケート調査結果

第 1 章 単純集計結果に基づく個別項目の評価
第 2 章 クロス集計による主要項目の評価

第 3 部 要介護高齢者についての実態調査結果

第 1 章 要介護者と介護者の状況	第 2 章 家族介護者と要介護認定
第 3 章 家族介護者とケアプラン	第 4 章 介護サービスと家族介護者
第 5 章 在宅における家族介護者の状況	第 6 章 行政への要望・介護保険に対する評価
第 7 章 「憎しみ」を生む要因は何か？ — 憎しみを感じている介護者の分析 —	